

本時のねらい

- ・写真の配置や文章などを工夫し、魅力が伝わるカードをつくることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・カード内の文や写真の大きさ、配置等のレイアウトを自由に変更し、表現する。
- ・提出箱にある他の児童のカードを閲覧し、よりよい表現の方法を考える。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイノートスクール
- ・プロジェクタ
- ・ホワイトボード

本時で育む主な情報活用能力

D-STEP2 E-STEP2
J-STEP2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (3 分)	○本時のめあてを確認する。 「情報にあった写真を入れて、工芸品のみりよくを伝えるカードを完成させよう」	
展開 (37 分)	○カードに書いた情報にふさわしい写真を資料から選び、スクリーンキャプチャ機能を利用して挿入する。 ・見やすい位置を考えて写真を配置する。【写真 1】 ・必要に応じて、文を訂正する。 ・作成したカードを教員に提出する。【写真 2】 ・返却されたカードに記入された訂正箇所を確認し、訂正を行う。【写真 3】 ○訂正したカードを再提出し、カードを見ながら工夫したところを発表する。	・図書資料をスキャンした画像やインターネット上の資料を配付しておき、児童が自分のカードに適した画像を選択できるようにする。 ・プロジェクタで投影して、スクリーンキャプチャのしかたを確認する。 ・手書き入力機能を用いて文字を入力する。 ・教員が、提出されたカードに訂正箇所を記入して返却することで、児童が訂正を行いやすいようにする。 ・教員が、再提出されたカードをプロジェクタで投影し、発表させる。 ・児童は発表のカードが共有されているので、写真を拡大して閲覧することができる。 ・児童の発言と関連したカードを、プロジェクタで投影する。
まとめ (5 分)	○本時の内容を振り返る。 ・友だちのカードを見たり、工夫したところを聞いて感じたことを発表する。	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】児童が、みりよくカードに挿入する画像を資料から選び、配置するようす



【写真 2】児童が作成したカードの例



【写真 3】教員が、提出されたカードの訂正箇所を記入して児童に返却するようす

児童生徒の反応や変容

- ・手書き入力機能を用いて文章を記入できるため、文章の内容を修正したり配置を変えたりすることが容易で、意欲的に活動を進めることができた。
- ・教員が用意した複数の資料を同じ画面の中で見比べ、より自分の伝えたいことと関連の深い写真資料を選択することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・提出されたカードをその場で点検、校正できるため、短時間で双方向のやりとりができた。
- ・学級で配付する資料を使って活動できるため、学級と活動内容や進度について連携を取りながら進めることができた。